

第 246 回 昭和の森観察会

池や川の仲間たち

藤田浩二（茂原市）

日 時：2012年6月10日（日）13時～15時 天候：晴れ
参加者：42名（大人20名 子ども22名） 指導員：11名
担当指導員：小林義和，山田益弘，藤田浩二

観察コースは、公園外の小中川上流部での生き物を観察するコースと、公園内のハナショウブ園周辺での生き物を観察するコースとし、二班に分かれて行いました。

〔小中川上流部での生き物観察〕

東屋から片道約30分の歩行を要するため、ほぼ小学生以上の参加者の構成となりました。周辺環境は、ゴルフ場や畑と近接していて、住居等は付近にないことから、生活雑排水の流入は比較的少ない環境と思われます。

観察できた生き物は下表のとおりでした。

ヤゴ(オニヤンマ)	ヤゴ(種類不明)	タイコウチ	ヘビトンボの幼虫
ホトケドジョウ	ガガンボの幼虫	カワニナ	ヒル
ヨシノボリ	ドジョウ	アメリカザリガニ	ブユの幼虫
ミミズ	エアワガニ	シマアメンボ	オオカワトンボ
ヘビ(ヒバカリ)	タニシ		

参加者の方からは、「身近に自然度の高い場所があることに改めて気がついた。」等の感想をいただきました。

なお、ほとんどの参加者が長靴を持参してなく、靴のまま川に入ることになったので、今後同様のプログラムを実施する際は、広報に「長靴用意」を明記することが必要と反省しました。

〔公園内ハナショウブ園周辺での生き物観察〕

アプローチが短いことから、未就学児童が比較的多い班構成となりました。

観察ポイントは、東屋付近での「モグラ塚」の観察、ビオトープの会で整備している水田でオタマジャクシ等の「田んぼの生き物」の観察、源流部でのアメリカザリガニ釣りを楽しみながらの「外来種の駆除」というように、いろいろの環境を廻るコースとしたことにより、「環境ちがいと生き物の関係」というものも、参加者の方々に気づいてもらえたと思います。

釣れたアメリカザリガニは20程度であり、昨年度の2～3割でした。

